

### 1. 本県周辺海域の概況(2/12現在)

- ・今月の海況の概要は図1のとおりです。
- ・三陸沖に暖水塊が分布しています。その陸側では親潮第1分枝が北緯39度付近まで達しています。
- ・黒潮の流型はB型(遠州灘沖で蛇行)です。流路は犬吠埼沖を大きく離岸後、北緯36度30分、東経143度まで北上していると推測されます。また、黒潮から分かれた暖水が本県海域の沿岸方向へ波及しています。
- ・常磐北部海域に冷水、本県海域に暖水が分布しており、本県北部沖合域で強い潮目を形成しています。

### 2. 海洋観測結果(2/8～2/10:いばらき丸)

- ・水温を図2～図5に、水温前月差を図6～図7に、平年偏差を図8～図9に示しました。
- ・水温は沿岸域で8～15℃台になりました(図10,11)。前月と比べると、北部沿岸域は表層で昇温、下層で降温しました(図12)。また、南部沿岸域は鹿島沖は降温(図13)、犬吠埼沖は表層で前月並み、下層で降温しました(図14)。平年と比べると、北部沿岸域は表層で「平年並み～高め」、下層で「平年並み～低め」となりました(図15)。また、南部沿岸域は下層のごく一部で「低め」、その他は概ね「平年並み～高め」となりました(図16)。
- ・流れは、南部沿岸域を中心に真潮(北上流)、北部海域は東経141度30分付近を中心に逆潮(南下流)でした。また、沖合域は北～北東方向への強い流れでした(図17)。

### 3. 今後の1カ月の見通し

- ・沿岸寄りの親潮(親潮第1分枝)の位置は、現状よりも南下して38度30分付近に達するでしょう。
- ・黒潮流型は当初B型で推移し、徐々にC型に変化するでしょう。また、流路は離岸後、徐々に接岸傾向になるでしょう。暖水の影響は暫く続きますが、北部海域を中心に徐々に弱くなるでしょう。
- ・水温を平年と比べると、当初は「平年並み～高め」で推移しますが、北部海域を中心に徐々に冷水が侵入して「低め」もみられるようになるでしょう。

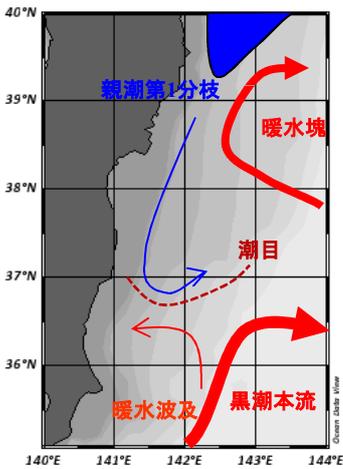


図1 海況の概要  
(2月12日現在)

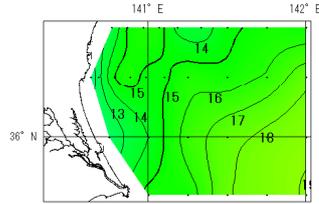


図2 海面水温(°C)

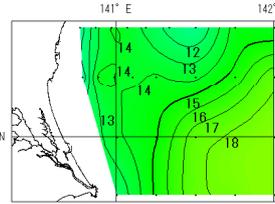


図3 50m深水温(°C)

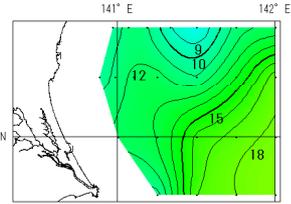


図4 100m深水温(°C)

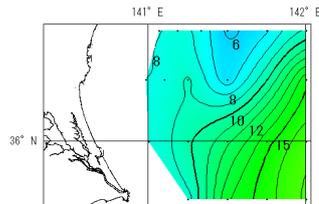


図5 200m深水温(°C)

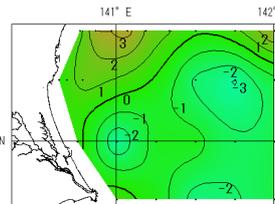


図6 海面水温前月差(°C)

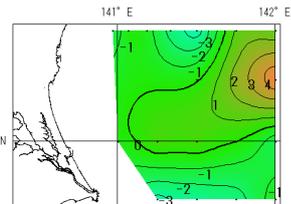


図7 100m深水温前月差(°C)

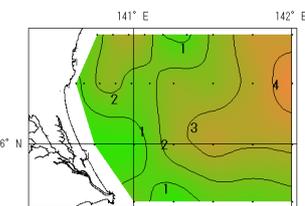


図8 海面水温偏差(°C)

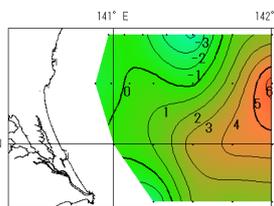


図9 100m深水温偏差(°C)

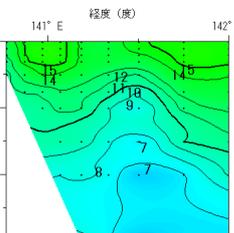


図10 会瀬沖鉛直水温(°C)

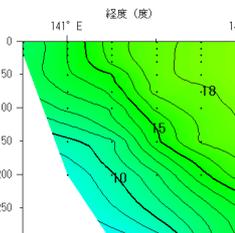


図11 鹿島沖鉛直水温(°C)

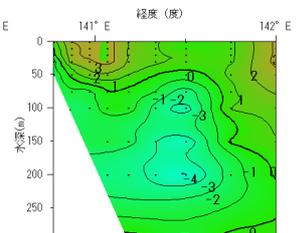


図12 会瀬沖鉛直  
水温前月差(°C)

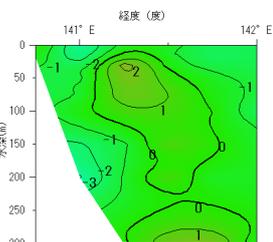


図13 鹿島沖鉛直  
水温前月差(°C)

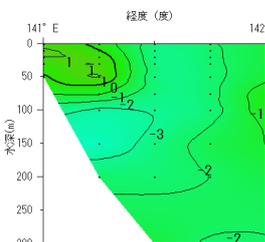


図14 犬吠埼沖鉛直  
水温前月差(°C)

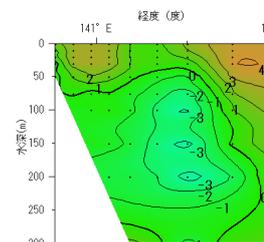


図15 会瀬沖鉛直  
水温偏差(°C)

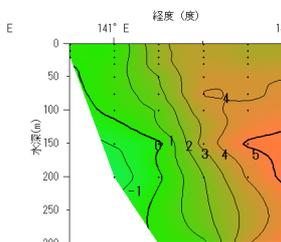


図16 鹿島沖鉛直  
水温偏差(°C)

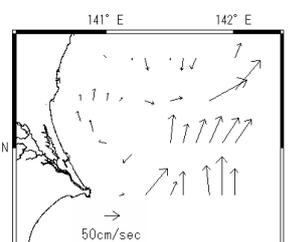


図17 水深20mの流向流速  
(50cm/s≒1ノット)